

省エネルギー住宅について



COOL CHOICE エコ住キャンペーンとは？

「COOL CHOICE」とは、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」「サービスの利用」「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

「COOL CHOICE エコ住キャンペーン」は、住宅の省エネ・脱炭素化推進のため、高断熱・省エネ住宅への買換えや省エネリフォームを呼びかけているキャンペーンです。また、浴室やキッチン、洗面所、トイレなど、住宅の水回りにおいて、節水・節湯水栓、節水トイレ、高断熱浴槽へのリフォームなども推進しています。

※「新しい生活様式」が求められる中で、家で過ごす時間が増え、世帯当たりのエネルギー消費量は増加傾向にあります。2020年冬季からは、「おうち時間」に焦点を当てて、『住まい（断熱リフォーム・ZEH化）』と『住まい方（省エネ家電への買換え）』を推進するキャンペーン「**みんなでおうち快適化チャレンジ**」キャンペーンもスタートしています。

✓ 今、「住宅」と「健康」の深い関わりに、世界的な注目が集まっています！

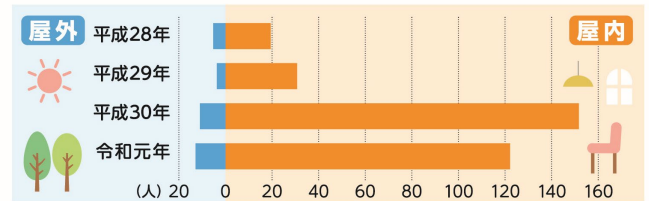
入浴中の事故は交通事故よりも多い！
温度差によるヒートショックのリスクも



出典：厚生労働科学研究費補助金「入浴関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究」、平成24～25年度 総合研究報告書、警察庁「令和元年中の交通事故死者数について」

夏の部屋が暑すぎると感じませんか？
家の中でも熱中症に注意が必要です！

東京23区での熱中症死亡者数の推移



出典：東京都監察医務院「令和元年夏の熱中症死亡者の状況（東京都23区）」

世界保健機関（WHO）「住宅と健康に関するガイドライン」で 冬季室温を18℃以上にと強く勧告！

- POINT1 冬季室温18℃以上（小児・高齢者にはさらに暖かく） **【強く勧告】**
- POINT2 寒い季節がある地域での住宅の断熱化 **【勧告】**
- POINT3 夏季室内暑熱対策 **【勧告】**

出典：世界保健機関「住宅と健康のガイドライン」より作成

✓ 断熱性能が高い「冬、暖かい住宅」は家族の健康づくりにつながります

＜断熱リフォーム 実施後の健康への影響 調査結果＞

ヒートショック
各部屋での寒暖差が大きくなると、ヒートショックが起きる可能性が高まります。

室温と血圧の関係
断熱リフォームで断熱性を改善、最高血圧が平均3.5mmHg低下！

健康診断結果
室温（18℃未満：18℃以上）と比較すると、18℃未満の住宅に住む人は、総コレステロール値が基準範囲を超える人が2.6倍！

出典：「調査：国土交通省 スマートウェルネス住宅等推進調査事業（2014年度～）」をもとに作成